NRU
国労せんだい
こくろうせんだい
FAX版
号外
2011年3月25日
発責 橋本 昭二
編責 武田 昌仙

東北地方太平洋沖地震

困っている人々に届けたい

各地区からの（本部・エリア本部に集約）救援物資

遠路物資を現地に配送
現地は戦場のよう

3月24日、国労本部と東日本本部の共同で、仙台地本に対する救援物資が、本部小池業務部長と東日本矢部法対部長によって届けられた。

早朝出発し、夕方遅くに到着した二人を橋本委員長、五十嵐書記長が出迎えた。

救援物資は早速現地へ届けるため、国労OB蘇武さんを窓口に石巻行政機関と連絡を取り、夜遅く橋本委員長と小池・矢部両氏が現地石巻災害対策本部（石巻運動公園内）に到着。

現地では、自衛隊の窓口を経由し、石巻市役所の皆さんに、「心よりお見舞いを申し上げる。国労からの支援物資を届けたい」と手渡し、大変感謝された。

被災地へは、手続きが複雑なため、一般人が入るのが難しい状況であり、また現地はまさに戦場そのものを見たようだったと報告がされた。

どう届ける、救援物資
課題 燃料不足が拍車

被災地の深刻な状況と物資配給のアンバランスは続いている。

報道で明らかなように、課題は物資の集約地から被災した現地への配送にあるが、原因は、供給が断たれたガソリンの不足にある。

この間、新潟地本を始め、若松地区、そして24日には本部・エリア本部からの救援物資が地本に届けられたが、被災した地域の組合員、特に深刻な状況の仲間に届けられていないのが実情だ。

震災から二週間、基幹道路の整備と相まって物資と共に燃料の調達に進捗の傾向がうかがえる。

是非、早期に現地の仲間に皆さんの思いが届くように燃料の供給が行き渡るように願う。

同時に組合員の皆さんの、届けるための行動を心から要請したい。

スコップ片手に跡片づけ
元気に頑張ってます！ 地本真砂婦人部長から

お疲れ様です。いつも情報ありがとうございます。こちらは昨日から家の水が引けたので、活動開始し、片付け始めました。津波は1.5～2mの所で停滞していて予想以上に酷く、沼地に家が建っているようです。

泥が凄くて水も出ません。水・電気は水没した所はかなり遅くなるらしく、赤井地区は家の辺りが一番酷いようです。

道路は陥没や決壊している所があります。

まともに津波と闘った子供は余震の度におののいています。

家財はテレビ、冷蔵庫はバラバラ、洗濯機、仏壇・・・全て壊れました。

でも周りの人は遺体探しをしている人も多く、私はまだまだ幸せな方です。今日もスコップ片手に後片付けを開始しています。落ち着いたら二階に住むつもりです。

頑張ります！

【3月23日 現地からのメール】

連日更新

国労本部ホームページ
東北関東大震災情報
http://kokuro.la.coocan.jp/

国労東日本本部ホームページ
地震関連情報
http://www.e-nru.com/